

平成29年度 中期経営方針（平成29年度～平成32年度）

- 東日本大震災後、当社は非常に厳しい収支状況に陥ったことから、経営環境の変化に主体的に対応すべく、新たな中期経営方針（平成26年度～平成30年度）を策定し、オールユアテックで企業変革に挑戦するとともに様々な施策に取り組んできた結果、平成26年度～平成28年度の業績は高水準を維持するに至っている。
- このような中、短期的な課題として、電気事業においては、平成28年4月に電力市場の小売全面自由化が開始され、平成32年4月には送配電部門の法的分離が予定されており、エネルギー事業を取り巻く環境は激動の只中にあることに加え、エネルギー市場の垣根を越えた競争が激化することが予想されている。
- また、建設市場においては、震災復興関連工事やメガソーラー関連工事の漸減による工事量の減少のほか、首都圏での五輪特需による施工能力確保難や過当競争の激化といった経営リスクが顕在化してきている。
- さらに、長期的な課題として、少子高齢化・人口減少の進展に伴う電力需要の低迷や建設市場の縮小・人財確保難なども予見されている。
- これらの現時点で認識できる課題・リスクを踏まえ、当社が持続的に成長していくためには、環境変化に柔軟に対応できる経営基盤の整備やさらなる競争力の強化、安定的な工事量・利益の確保などの取り組みを一層加速させる必要があることから、現行中期経営方針を見直し、新たな中期経営方針を策定する。
- 新中期経営方針の対象期間については、今回の中期経営方針の見直しが2020ビジョン推進下における最終方針となること・2020年に東北電力において送配電部門の法的分離が行なわれることに鑑み、平成29年度から平成32年度の4カ年とする。
- なお、経営の方向性については、2020ビジョンの大きな価値観は踏襲するが、今後の環境変化・リスク等を認識したうえで見直すこととする。

1. 当社を取り巻く経営環境

- 【社会関連】**
 - 東北地方の急激な人口減少・少子高齢化の顕在化（労働人口減少・過疎化など）
 - 節電・省エネの定着化 ●女性活躍推進法の施行 ●働き方改革の推進
- 【建設市場】**
 - 東北・新潟エリアにおける建設投資は横ばいから減少、関東圏における建設投資は高水準を維持
 - 震災・メガソーラー工事はピーク超え ●新築は減少、維持修繕・リニューアルは増加
- 【経済関連】**
 - 世界的な不確実性の高まりによる日本経済への影響（英国EU離脱・中国経済の鈍化・新米大統領就任など）
 - 経済対策の押し上げによる高い潜在成長率 ●都市部への投資集中と地域間格差の拡大
- 【東北電力】**
 - ネットワーク部門の法的分離の実施（H32.4月）
 - 調達改革委員会によるコスト低減策の加速

2. 平成29年度中期経営方針の基本的な考え方

- 主な課題認識**
 - 風頼みではない、ユアテックの真の実力が問われる時代
 - 東北電力ネットワーク部門の法的分離に向けた柔軟かつ主体的な適応
 - 単発受注で終わらない安定的な収入確保に向けた仕組みづくり
 - 有望市場である関東・海外での利益ある成長の追求
 - 信頼獲得に向けた技術力・提案力の向上
 - 働き方に対する意識改革と労働環境改善に向けた仕組みづくり
 - 人口減少社会における施工能力の確保とお客さまニーズに応えられる高い技術力の確保

- 経営の基本姿勢・方向性**
 - 「安全・品質・信頼」は不変の価値（これこそがユアテックブランドの柱）
 - 変化の時代は時間管理が重要
 - 環境変化に迅速かつ主体的に適応できる企業体質への進化
 - 対象を明確化した地域営業戦略の展開と経営資源の適正配分による安定収益確保体制の確立
 - 次の時代に繋げる足場づくり（新ビジョンへのシフトアップ）
- 収支目標 ～平成32年度：売上高2,000億円・営業利益80億円の達成～**

主要施策（力点）

力点① 「安全」・「品質」・「信頼」のユアテックブランドに磨きをかけていきます

- ◎「安全・品質・信頼は不変の価値である」との信念をもって、より良い施工を提供し、お客さまとともに成長する企業を目指します
 - ▶重大災害ゼロに向けた安全文化のたゆみない構築
 - ▶施工ミス・トラブル撲滅による信頼度の向上
 - ▶企業倫理・法令遵守と適正な業務処理のさらなる徹底

力点② 地域需要を掘り起こす営業活動を強化するとともに、成長市場への展開を加速します

- ◎東北・新潟のお客さまとの顔の見える関係を維持・強化し、新築受注とリニューアル工事の獲得を目指します
 - ▶新築とリニューアルを両輪とした受注拡大
 - ▶購買力・調達力の強化によるコスト競争力の向上
- ◎電気事業の変化を見据えた業務運営体制の構築を目指します
 - ▶効率的かつ低コストな施工体制の構築と電力安定供給への一層の貢献
- ◎成長市場への取り組み強化により利益ある成長を目指します
 - ▶関東圏における受注高の安定的な確保と低コスト体制の確立
 - ▶ベトナム事業の再強化とミャンマー事業の展開の加速
 - ▶国内外の新たな成長領域への機動的進出

力点③ 時間管理の意識を高め、働きやすく人を活かす企業を目指します

- ◎ユアテックブランドの規律の下、スピードある意思決定と行動で変化に前向きに対応します
 - ▶「より少ない労働時間で効率よく働ける仕組み」・「働きがいのある・健康いきいき職場」づくりの推進
 - ▶「働き方改革推進委員会（H28.12.5設置）」による労働時間管理の適正化と実効性のある業務負荷低減策の推進
 - ▶人口減少・法的分離等の環境変化を見据えた組織・体制の構築
 - ▶2020ビジョン・アクションプランの実現・集大成とポスト2020に向けた業務変革の追求
- ◎ライフステージに応じて「安心して」・「長く」働ける「仕事と家庭の両立支援制度」の整備を進めます
 - ▶育児支援・再雇用・ジョブリターン制度等の整備・拡充
 - ▶労働力人口減少を見据えた人財育成と施工能力確保

中期基本目標

スピード感を持った行動による着実な収益確保
～次の時代に挑戦し進化する企業へ～

平成32年度
定量目標

売上高 2,000億円・営業利益 80億円